

リーダーシップを育てよう

東京都立晴海総合高等学校
キャリアカウンセラー

千葉吉裕

学校には、さまざまな学校行事があります。入学式や卒業式、始業式、終業式、対面式といった「儀式的行事」、文化祭や合唱祭、弁論大会、英語スピーチコンテスト、課題研究成果発表会、芸術鑑賞教室といった「文化的行事」、体育祭や球技大会、避難訓練、防災訓練、交通安全教室、薬物乱用防止指導といった「健康安全・体育的行事」、遠足、修学旅行、移動教室、宿泊防災訓練といった「旅行・集団宿泊的行事」、就業体験（インターンシップ）、上級学校訪問、職場訪問、全校美化清掃といった「勤労生産・奉仕的行事」。

学校行事は、学校、地域、生徒の実態に合わせて行われることから、学校の特色を表すこととなります。学校行事をみれば、その学校を知ることができると言っても過言ではありません。ですから、高校の学校行事は、中学生が高校選びをする際の一つの基準になることもあります。人気のある高校には、対外的に誇れる学校行事があったりします。

学校行事は、学校が計画して実施するものではありませんが、すべて教師主導で行うわけではありません。生徒が自主的に活動するものがたくさんあります。それぞれの学校行事の目的を踏まえ、生徒たちは、よりよいものにするよう創意工夫を凝らしていきます。

とは言うものの、どんな行事でも生徒が自主的にアイデアを出し合ってよ

いものに仕上げていくわけではありません。例えば、文化祭でのクラスの出し物を決める話し合いなどは簡単ではありません。難儀する一番の理由は、クラスが文化祭のために集められた組織ではないからです。共通した目的意識を持つて集まっている部などで文化祭の出し物を決めるのとは全く異なります。しかし、クラスメイトが全員消極的なわけではありません。クラスという組織を利用して、「何かをやってみたい」「何かを成し遂げてみたい」という構想を持っているクラスメイトはいるものです。そのクラスメイトの提案を吸い上げることは容易ですが、それをクラス全員で一致団結できる目標とするのはたやすくはありません。まして、たどりつきたいイメージを共通認識するには、時間と手間が必要になってきます。

ここでは、文化祭のクラスの出し物を例にあげてみました。目的の共有やチームの団結、効果的にチームが機能するようにマネジメントすることは、クラス運営に限らずさまざまなチーム作りで起こる問題ではないでしょうか。ヒトは生涯にわたってさまざまな組織に所属し、何かを成し遂げていきます。組織集団に対して影響力を発揮する「リーダーシップ」は、生涯にわたって求められるスキルとなります。組織マネジメントでは、目的やビジョンを掲げ、目標やゴールを示し、チームの中

の役割や約束を決め、構成員のやる気を高めて、組織全体で進んでいくようにします。そして、個人の思いである「やりたいこと」「実現したいこと」「成功のイメージ」を組織全体で共有できるような状態に組織を変えることが大切です。構成員が組織の活動を他人事ではなく、自分のこととして捉えられようように変えていかなければなりません。ヒトとヒトの中で共鳴を起こしていくためには、人間関係を作り、思いを伝えることから始めなくてはなりません。熱く思いを語れるようになることはこれからの時代に活躍するために欠かせない能力ではないでしょうか。

今日、科学技術の進歩や、グローバル化の進展などにより劇的に変化する社会で起こる課題は、過去の成功例で解決できないものが次から次へと生じると考えられており、解決策を創造せざるを得ない事態に直面しています。そのとき、一人のヒトが問題に気付き、立ち上がり、共に行動する仲間を集め、活動を広げ、ムーブメントを起こしていくことは日常茶飯事になるかもしれません。そのとき、欠かせないのがリーダーシップです。

学校行事は、生徒のリーダーシップを育む絶好の機会になっています。未来を背負う若者たちに、リーダーシップを養う機会として、それぞれの学校で学校行事がますます盛んになることを期待しています。